

第12回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」
IN 宇佐美

報 告 書

2011年9月1日

ご挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解ご協力ありがとうございます。

本年も「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」を無事に開催できました事、ご報告させていただきます。多くの団体や個人の方々のご支援により開催することができました、心より感謝申し上げます。

このキャンプは、「青少年の健全育成」「ボランティアリーダーの育成」を目的とし、「自分のことは自分でやる。一人でできないことは協力してやる。できる人はできない人を助ける。」理念である「自立と共生」という社会の基本を伝える場です。

本年も、班別行動を基本に宇佐美学園を活動拠点として、様々な体験プログラムを実施いたしました。

昨年の評価検証より、近年の天候など自然環境の急激な変化および子どもたちの体力や集中力の変化を踏まえた、より安全で楽しく教育効果が高められる運営体制およびプログラムへと再構築をいたしました。

代表的なこととして、事業計画書形式の詳細なマニュアルをリーダー用として作成したこと、プログラムごとに目的ガイダンスを導入したことです。この2点は、マニュアル化ですので運営としては非常に楽になりますが、事業目的である自分で考えて行動するという自立心や創造力の醸成とのバランスが検討課題です。線路のようなマニュアルではなく、道標のようなものとし、自身で考えながら行動できる形式に発展させていけたらと思慮いたしております。

ボランティアリーダーは、意識も高く毎晩のミーティングにおいても参加児童の為に熱心な議論をしていました。特に教職を目指す学生は、本事業の体験が大変勉強になると喜んで参加いただいております。

また、今までの参加児童が、中学生、高校生、大学生となりリーダーとして参加し大変活躍してくれました。毎年の成長が心強く主催者として大変うれしく思います。

このキャンプが、参加した児童・リーダーの自立心・共助心・創造力醸成の一助となれば幸いです。

昨今は、大災害や政治の不作為、世界経済の悪化と日本の置かれた状況は大変厳しいものですが、日本社会の再生の原点は教育でありますので、少しでもその一助となるべく理念「自立型共生社会の実現」に向け活動してまいります。

ご理解、ご支援よろしくお願い申し上げます。

平成 23 年 8 月 25 日

特定非営利活動法人
フレンドシップキャンプ
理事長 喜 多 隆 正

事業概要

構成団体	主催	特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ
	後援	中央区教育委員会 特定非営利活動法人 東京中央ネット
	協力	中央区立宇佐美学園 社団法人 小田原青年会議所 たんぼの恵を感じる会 特定非営利活動法人 宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会 江戸東京再発見コンソーシアム 株式会社 建設技術研究所 まめの木プロジェクト（助成：緑と水の森林基金） 特定非営利活動法人 魚食文化の会 あそび心研究所
主催団体	理念	「自立型共生社会の実現」
事業名称		第12回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」IN 宇佐美
事業目的		「青少年の健全育成」 「ボランティアリーダーの育成」
事業概要		リーダー2～3名 3～6年生の男女各1名 計10～11名の班を12班構成。 班別行動を基本とし、海・山・川の豊かな自然環境の中で各プログラムを体験する組織キャンプ。寝室は学年男女別の8室。
開催場所		中央区立宇佐美学園とその周辺地域及び小田原市内
開催日		平成23年8月5日から8月9日 4泊5日
参加児童		中央区在住・在籍の児童3～6年生 計94名
ボランティア人員	大学生・大学院生	24名（文教、帝京、成蹊大学）
	高校生	2名
	中学生	5名
	地域の方	9名（宇佐美、小田原地域）
	NPO・協力団体	10名
	宇佐美学園職員	約20名
問い合わせ先		特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ MAIL： kids11@tokyochuo.net TEL：03-6226-6611
写真&報告書DL		URL： http://www.npo-fc.or.jp （9月中旬ごろまでにアップ致します） トップページ ⇒ what's new! ⇒ わんぱく KIDS 写真）

主なプログラムのポイント

行動指針 「楽しむ、役割を持つ、協力する」

わんぱく KIDS 3つの約束

1. 「あいさつ、返事をしましょう。」
⇒楽しく過ごすには、コミュニケーションが大切。
2. 「時間を守りましょう。」
⇒安全・快適に過ごすには、ルールを守ることが大切。
3. 「生き物は観察が終わったらもとに戻しましょう。」
⇒自然との共生は、理解とやさしさが大切。

食事

手をつける前に自分の食事量を考慮し、同じテーブルのお友達とシェアをし、残さないようにする。嫌いなものは目標量を決めて食べる努力をする。

班旗づくり

自分の目標と班の目標を旗に描き発表、期間中の班旗とする。
キャンプでの個人の目標を確認する。
話し合っって班の目標を立てることで、仲間意識を高める。
班の一員となることにより自己意識の醸成を促がす。

山・川・海での自然体験

都会で出来ない体験により自然への理解を深める。
自然は、人に恵を与えてくれる反面危険も多く、壊れやすいという気付き。

宇佐美と江戸東京講演・石丁場遺跡散策

身近な地域からの歴史理解(中央区と宇佐美のつながりなど)

食育ガイダンス・ひものづくり

干物や切り身の魚も海川で泳いでいた魚であることの意識付け。
人の食べ物は、他の生き物の命をもらっているという意識付け。
家族をはじめ多くの人たちの労力があって食べ物があることの意識付け。
自然の恵を得て人も生きているという環境意識の醸成。

木育ガイダンス・工作・積み木遊び

木材に触れる、創る、知ることによる森林と環境教育
生活や遊びの道具を作ることで創意工夫し物を作る楽しさの気付き。

カレーづくりとコンテスト

最後の夕食を班共同で作ることで、すべてのプログラムの集約とする。

5 日間の様子

	1 日目
7:00	スタッフ集合
7:30	集合受付
	バス出発
8:30	トイレ休憩
10:00	小田原到着
	グループワーク レクリエーション
	昼食
12:00	川遊び
14:00	小田原出発
16:00	学園到着
	入所式・入浴
18:00	夕食・学園食堂
19:00	旗づくり
21:00	消灯
	リーダーミーティング



↑ アイスブレイクを目的にグループワーク！
「人間 知恵の輪」に挑戦中！



↑ 川遊びにて ダムを作っています



↑ 作った旗を班ごとに発表

	2日目
7:00	起床・ラジオ体操
	朝食 学園食堂
8:30	海岸へ出発 宇佐美海岸
12:00	昼食 弁当 ビーチフラッグス大会
	宇佐美学園到着
	入浴
	班別行動
17:30	夕食 学園食堂 宇佐美の歴史・石丁場 ガイドンス 江戸東京ガイドンス
	自由時間
21:00	消灯



↑ 宇佐美の海で元気いっぱい子どもたち



↑ 波しぶき！
気持ちよさそう！



↑ わんぱく KIDS 恒例
埋められるリーダー



←
海のあとはみんな
食欲があります



↑ 裏山の遺跡のガイドンス (左)
刻印石を利用した江戸城などの江戸東京のガイドンス (右)
宇佐美と中央区のつながりを勉強
明日の遺跡散策がますます楽しみに

	3日目
7:00	起床・ラジオ体操 朝食 学園食堂
8:30	班別行動 ・ 工作&積木 ・ 裏山遺跡散策 ・ プール遊び ・ 班別自由 昼食 学園食堂
12:00	班別行動
	風呂
17:30	夕食 学園食堂 風呂
	カレー食材取りゲーム 自由時間
21:00	消灯 リーダーミーティング



↑ 裏山の遺跡散策



↑ 天井まで積み上がったカプラ(積木)



↑ 特別講師による木育ガイダンス



↑ 夜はテント泊体験をすることができます



← 木のスプーンづくり



↑ プールでおもいっきり遊びます



↑ カレー食材決めゲーム大会

	4 日目
7:00	起床・ラジオ体操
	朝食 学園食堂
8:30	食育ガイダンス
	ひもの作り
	昼食 学園食堂
12:00	班別行動
	カレー作り開始
	夕食 中庭
	風呂
17:30	
	カレーコンテスト 結果発表
	思い出感想発表会
	自由時間
21:00	消灯
	リーダー ミーティング



↑ アジのひものづくりに挑戦！
本格的に出刃包丁でさばいています



← どうぶつしょうぎ中です



← 続いてカレーづくり



← カレーコンテストの表彰式

	5日目
7:00	大掃除
	朝食 学園食堂
	大掃除
8:30	自由時間
	退所式
	宇佐美学園出発
	小田原到着
	班別行動
	一夜城公園
12:00	昼食
	小田原出発
	トイレ休憩
16:15	到着
	解散



↑ 全員で記念撮影



↑ 小田原の一夜城公園にて



↑ 珍しい「玉虫」を発見!



↑ 5日間共に過ごした、キャンプボランティアたち!

<プログラムディレクター報告 (NPO・FC 井出 薪之介)>

本年度のわんぱく KIDS も、夜間は雨に降られることもありましたが、野外で活動する時間帯は天気恵まれ、予定通りのプログラムを行うことができました。今年、新たに追加・変更したアクティビティは、初日の川遊び、2 日目、宇佐美海岸でのビーチフラッグス大会など、いくつかありますが、その中でも、4 日目の「木育アクティビティ」は、関係各位の協力のもと、子どもたちに「楽しみながら」自然を感じられるよいものとなりました。そして、今年は、震災が起きた年の実施ということで、例年よりもさらに、安全管理を強化したことにより、大きな病気・ケガもなく無事 5 日間を過ごすことができました。お子さまたちにとって、このわんぱく KIDS の 5 日間は少しでも成長の手助けになって頂けていることを願ってやみません。来年度もさらにパワーアップして実施予定です。今後とも当 NPO ならびに、わんぱく KIDS 事業を宜しくお願い申し上げます。

協 賛

東京商工会議所中央支部
(株)ロイヤルパークホテル
伊豆山漁業(株)
(株)セントラルエステート
魚河岸野郎(株)
タチバナアーツ管理(株)
天麩羅 天音
昭和工機(株)
(株)マウンテン・ワン
(株)シゲマツ
(株)ソニックジャパン
斉藤税務会計事務所
ライオンファイル(株)

コールマンジャパン(株)
(株)幻冬舎エデュケーション
(株)隅田屋商店
(株)ネオ・コミュニケーションズ
小坂こども元気クリニック
ブレインステッド(株)
(株)サヨカ
神林印刷(株)
谷中和也税理士事務所
大槻経営労務管理事務所
田坂・永塚法律事務所
東京空港交通(株)

(※順不同 敬称略)